

平成27年度 訪問入浴サービス部門 事業報告

重点目標

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
- ④訪問入浴車1台を軸に月間延べ訪問件数100件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。

入浴車：月～金 週5日稼働

- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。

総括

平成27年度はマンパワーが十分ではないものの退職者もおらず、入浴車の1台目を安定して稼働することができた。新たな人材の雇用はなかったが、後期には育休中だった職員の復職やふじの郷の職員（デイサービス勤務）を新たに研修していくなど、現存のマンパワーの中で人材不足を補う動きが図れた。結果、新規の受け入れが困難な状況も少しずつではあるが改善し、1台目を月曜日から金曜日の稼働、土曜日のみ半日稼働を行い、月間目標件数の目安である100件をどうにか達成できた。反面、訪問入浴の新規の打診62件中16件はふじの郷の人材不足などの理由により対応できない状況もあり、まだまだ改善していかなければならない課題が浮き彫りとなった。しかし、平成27年度は退職者もおらずスタッフが変わらないことでご利用者、ご家族からの信用、信頼に繋がり、スタッフ同士の安心感、信頼感も高まるプラスの効果の大きいように感じた。訪問入浴は1日を通してスタッフ3人が近い距離感の中でサービスに関わる為、スタッフ同士の信頼関係はサービスの質の向上に繋がる大きな要因である。特にターミナル期の依頼が大きな核になっているなか、スタッフの信頼関係はサービスの質に大きな影響を与える。平成27年度もターミナルの依頼は多く打診は48件にもなった。訪問入浴は要介護度4、5の方が約9割を占めていることから入院等が多く不安定な面もあるが、訪問入浴の開設当初から比較するとターミナル期の需要は2～3倍程に増えている。当初よりターミナル期の方の訪問入浴に関わり実績を重ねてきたことで、関わりのなかった事業所からの依頼も若干だが増えてきており、改めてふじの郷の訪問入浴の必要性を感じた。継続は力なりで、迅速に対応できる体制、そして気持ち良く入浴していただくこと、その思いでスタッフがサービスに関わる姿勢を今後も大切にしていきたい。

最後に本年は当サービス部門として10周年を迎えることができた節目の年であり、ご利用者には薔薇の花を浮かべた薔薇湯に入っていたいただき、ご家族には入浴剤セットをお渡し、お祝いしていただけることに感謝するとともに、改めて関わる皆さまに支えられていることを実感した年度であった。

重点目標別報告

- ①利用者の一人ひとりの身体状況を把握し、異常の早期発見や健康管理・生活上の助言等を、本人もしくは家族に提供できるようにする。
 - ・定期的な訪問によりご利用者の表情や会話等で心身の変化をみることができた。また入浴して頂くことで皮膚状態を細かく観察することができ、ご本人、ご家族及びサービスを提供する関係者に状態の変化を報告できた。
- ②利用者の個別性を大切にして、希望や要望などに応え、充実したケアサービスを提供する。
 - ・お風呂の時間帯、お風呂の湯加減の好み、準備等の物音、スタッフの声の音調など配慮すべきことは様々であり、お風呂のサービスに満足していただくことはもちろんだが、家のなかに入り込まれるストレスを考慮しサービスの提供に努めた。
 - ・ご利用者、ご家族の要望に応え信頼関係を築いていくことで、希望や要望をより細やかに話していただける環境作りに努めた。
 - ・本年は訪問入浴の開設より10周年であった。10周年のイベントとして、
ご利用者：薔薇の花をうかべた薔薇湯に入っていたいただいた。
ご家族：入浴剤セットをお配りした。
- ③利用者の清潔保持、生活意欲の増進を図るとともに、その家族の身体的、精神的な負担の軽減を図る。
 - ・定期的に入浴することで身体の清潔を保持し、ご利用者が快適に過ごして頂けた。
 - ・ご利用者が入浴している姿を目の前で見て頂くことで、訪問している間、ご家族が安心して過ごしていただける時間を提供できた。
 - ・スタッフとの会話、季節毎のイベント、毎月お渡しするカレンダーなど楽しみになることを増やすことで気分転換を図れた。
- ④訪問入浴車1台を軸に月間延べ訪問件数100件を目安とし、1日平均、5人／台程度の利用となるよう努める。

入浴車：月～金 週5日稼動

別紙参照

- ⑤ターミナルケア・介護予防・重度身体障害者も出来る限り受け入れることにより、幅広い訪問入浴サービスの提供をめざす。
 - ・介護予防の依頼はなし。
 - ・身体障害者の依頼は1件。
 - ・ターミナルの依頼（打診を含む）は48件。
- ⑥社会福祉士の実習生を受け入れ、高齢者福祉領域の後継人材の育成に努める。
 - ・訪問入浴がどんなサービスなのか、また在宅での介護の現状をみてもらうことを学んで頂いた。

訪問入浴部門主任：高山智之